

(0日本史プリント3-7)

第5章 中世社会の成立 5. 蒙古襲来と幕府の衰退 a, 蒙古襲来

①13世紀初頭、[1チンギス=ハーン]、アジアからヨーロッパにまたがる[2モンゴル]帝国(蒙古)建設

[3フビライハーン]→国名を[4元]とし中国支配に重点を置く
→[5高麗]を完全に屈服させ、日本にも[6朝貢]を要求

②執権[7北条時宗]、朝貢を拒否→2度にわたり、元の攻撃をうける([8元寇])

③1274[9文永]の役
[10高麗]・モンゴル軍3万兵が[11博多]湾に上陸→[12暴風雨]?により退ける

モンゴル軍の戦い方…[13集団戦]で、[14てつほう]など優れた武器を使用する。

③幕府の対策

- 1) [15異国警護番役]を強化、御家人に九州北部の海岸を警備させる
- 2) 博多湾沿いに[16防塁]を整備するなど、要地警備をすすめる

④1281[17弘安]の役
元・高麗連合軍に加え、江南軍([18旧南宋]軍)が九州北部を攻撃
→[19暴風雨](※のちに「[20神風]」と考える)が発生し、モンゴル軍撤退

⑤蒙古襲来に失敗した理由

- 1) 21 モンゴルに征服された高麗や南宋の人々の抵抗
- 2) 幕府の統制の下、九州の武士がよく戦った

⑥蒙古襲来の様子…[22蒙古襲来絵巻]=肥後の武士[23竹崎季長]の「活躍」を描く

b. 蒙古襲来後の政治

①蒙古警戒体制の継続

- 1) 武士動員権拡大…[24御家人以外の武士]を動員する権利を獲得
→幕府権力の西国への拡大=全国政権化する
- 2) [25鎮西奉行]を設置=[26九州]の政務・裁判・御家人の指揮

↓

②[27北条得宗]家の勢力拡大(得宗専制政治へ) ※得宗家…28 北条家の嫡流の当主

- 1) 全国の[29守護]の半分以上や[30地頭]職の多くを北条氏一門が占める

2) 御家人と、[31御内人](=得宗家の家臣)の対立激化

↓

1285霜月騒動=有力御家人[32安達泰盛]が[33内管領]平頼綱に滅ぼされる

③御家人の窮乏

元寇→御家人に多くの負担を与えたにもかかわらず、34 十分な恩賞が与えられない

分割相続の弊害の拡大→35 所領の細分化がすすむ。

しだいに[36単独]相続に移行、[37惣領]制の崩壊、血縁的結合の解体→地縁的結合

④1297[38永仁の徳政]令

永仁の徳政令

目的… a 窮乏する御家人を救う

内容… 御家人の所領の質入れを禁止し、売却した所領を無償で取り戻させ、御家人が

関係する金銭の訴訟の受付を認めない

結果… 効果は[39一時的]、逆に借銭が困難になる

c, 社会の変化

①農業技術の発展→農業生産力の拡大 「土地の拡大よりも、収穫高の増加へ」

・麦を裏作とする[40二毛作]の拡大

・肥料([41刈敷]・草木灰)の使用、鉄製農具・牛馬耕普及

・工芸作物([42荏胡麻]など)栽培、農村手工業の発達

②手工業(鍛冶・鋳物師・紺屋など)の成立…村内に居住、43 各地を遍歴

③商業の発展

定期市([44三斎市]=月に3回)の開催、中央からの行商人の出現

大都市(京都・奈良・鎌倉など)での常設店舗の成立([45見世棚])

同業組合([46座])の結成

座…[47大寺社や天皇家]に属して販売や製造についての[48特権]を認められた

[49手工業者]の[50同業者]の団体

[51問丸]…[52港]や交通の要地で[53商品の中継と委託販売]・[54運送]をする業者

[55借上]…高利貸業者

[56為替]…[57遠隔地取引]で[58金銭]の取引を[59宋銭]で代用する

④貨幣使用の拡大=[60宋銭]の使用→しだいに農村へも普及([61代金納])